

令和7年度 くずまき観光地域づくり協議会 総会

日 時／令和7年5月22日(木) 13:30～
場 所／くずま～る2階「まき×まきホール」

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 議案第1号 規約の一部改正について
 - (2) 報告第1号 令和6年度事業報告並びに収支決算報告について
 - (3) 議案第2号 令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- 4 その他
- 5 閉 会

くずまき観光地域づくり協議会

令和7年度くずまき観光地域づくり協議会名簿

役員任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

No	役職	所属等	職名	氏名
1	会長	葛巻町	副町長	觸澤 義美
2	副会長	葛巻町商工会	会長	吉澤 信光
3	副会長	葛巻町観光協会	会長	八木 寛一
4	監事	一般社団法人葛巻町畜産開発公社	専務理事	高宮 晴彦
5	監事	岩手銀行葛巻支店	支店長	井上 桂吾
6		岩手県盛岡広域振興局経営企画部	産業振興室長	小川 信子
7		新岩手農業協同組合葛巻支所	支所長	小向 智賀子
8		葛巻町森林組合	常勤理事	竹川 高行
9		特定非営利活動法人葛巻町スポーツ協会	会長	近藤 豊美彦
10		株式会社岩手くずまきワイン	専務取締役	漆真下 満
11		株式会社グリーンテージくずまき	常務取締役	桂川 司
12		守山乳業株式会社葛巻工場	工場長	堺澤 昌志
13		タカナシ乳業株式会社岩手工場	工場長	田嶋 次郎
14		盛岡信用金庫葛巻支店	支店長	脇澤 寿也
15		岩手県立葛巻高等学校	校長	和田 健利
16		葛巻町自治会連合会	会長	吉澤 信也
17		葛巻町婦人連絡協議会	会長	山形 茂子
18		葛巻町青年連合協議会	会長	山形 駿
19		移住者代表	英語教室主宰	新妻 浩三

20	アドバイザー	特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター	理事長	広田 純一
21		株式会社JTB盛岡支店	観光開発プロデューサー	西谷 泰生

22	事務局	いらっしやい葛巻推進課	課長	大久保 栄作
23		いらっしやい葛巻推進課	課長補佐	吉澤 晴之
24		いらっしやい葛巻推進課	課長補佐	岩間 謙二
25		教育委員会事務局まなび交流課	課長補佐	上館 芳彦
26		いらっしやい葛巻推進課	主事	千葉 慎也
27		いらっしやい葛巻推進課	主事補	高橋 瑚白
28		いらっしやい葛巻推進課	主事補	加藤 美季

議案第1号 くずまき観光地域づくり協議会規約の一部改正について

くずまき観光地域づくり協議会の規約の一部を次のように改正する。

1 提案理由

会員であった葛巻町女性団体連絡会の解散に伴い、女性団体である葛巻町婦人連絡協議会を新たに会員とするもの。

2 新旧対照表

改正前		改正後	
別表1 くずまき観光地域づくり協議会構成員		別表1 くずまき観光地域づくり協議会構成員	
役職	所属等	削除	所属等
	(略)	削除	(略)
	葛巻町女性団体連絡会	削除	葛巻町婦人連絡協議会
	(略)	削除	(略)

附 則

この規約は、令和7年5月22日から施行する。

令和6年度事業報告

1 総括

くずまき観光地域づくり協議会で推進する「くずまきDMO事業」は、当協議会を母体として町民や関係機関等と連携・協働し、「観光」を切り口とした地域づくりを展開している。

令和6年の全国の観光動向は、訪日外国人数が年間3,600万人を超え過去最高を記録するなどインバウンド市場は引き続き活況であった。また、国内旅行においては、延べ旅行者数が約5億4千万人とコロナ前の2019年比で91.8%であるものの、国内消費額は25兆1,175億円と2019年比で114.5%と増加しており、旅行1回あたりの消費単価も46,579円/人と2019年比で124.7%と増加している。このような状況のなか、当町における観光客入込数は、年間で約23万人とコロナ禍から緩やかな回復傾向にあるものの宿泊者数も横ばいであり、他市町村等の回復に追いついていない状況にある。

くずまきDMO事業に関しては、協議会の設立から9年目を迎えた令和6年度は、当協議会の事業をさらに推進するため、各分野・産業との連携を強化し、観光コンテンツの柱となる特産品や地域食材、体験プログラムなどの地域資源の生産体制やサービス提供体制の充実を図るべく、地場産業の発展や町民生活の向上につながる観光地づくりを目指して、サイクルツーリズムやスポーツツーリズムなどの体験型観光コンテンツの継続実施や特産品を活用したモニターツアーの実施、飲食店の魅力向上支援のほか、まちなかエリアの賑わい創出に向けた住民ワークショップや起業家育成支援セミナーなどの事業を展開した。

また、移住希望者を対象とした体験ツアーや大学生による地域おこしプログラムの開催により関係人口の創出・拡大を図ったほか、DMO講演会等の実施により、多様な分野の連携により地域資源を活かした観光地づくりを推進した。

「くずまきDMO」の取組みについては、くずまきTVや協議会HP、SNS等において積極的に情報発信するとともに、3月には「活動成果発表会」を開催して活動内容の周知に努めた。

【DMO : Destination Management/Marketing Organization】

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人（団体）。

2 取組経過

- 5月28日 : 令和6年度くずまき観光地域づくり協議会総会（出席者24人）
- 6月～ : 各検討部会活動開始
観光・交流促進部会/まちなか賑わい創出部会/関係人口創出部会/
若者・高校生部会
- 9月1日～ : くずまきDMOキャンペーン① 観光情報等の発信
※町観光協会「くずまきフォトコンテスト」同時開催
くずまきDMOキャンペーン② くずまき鍋PR

- ※町商工会「くずまき飲食店応援ラリー」同時開催
- 1月29日 : くずまきDMO講演会「地産地消で益々パワーアップ」
 講師 くずまき食のアンバサダー 小野寺恵先生 (参加者70人)
 ※葛巻町食生活改善推進員協議会との共催
- 2月16日 : くずまきDMO講演会「女性・若者の起業支援フォーラム」(参加者50人)
 ※まちなか賑わい創出部会連携企画
- 3月18日 : くずまきDMO活動成果発表会 (参加者45人)
- ※各部会の活動詳細については、「3 各部会の活動状況等」で報告いたします。

3 各部会の活動状況等

(1) 観光・交流促進部会

項目	内容
① 基本方針	<p>観光客の町内での滞在時間を長くするため、サイクルツーリズムやスポーツツーリズムを中心とした体験型プログラムの充実を図るとともに、体験イベントやモニターツアーを開催して、町の観光コンテンツのPRを強化する。</p> <p>観光を軸とした全町的な取組みを推進するため、これまでの活動の成果を踏まえながら、観光分野の専門家のアドバイスのもと、さらなる観光客の受け入れ環境の充実・強化を図る。</p>
② 活動概要	<p>① サイクルツーリズムの推進 サイクルの利用促進のため、試乗会や体験会の開催のほか、レンタサイクルやサイクルステーションの運営を実施した。</p> <p>② スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致活動 スポーツ大会や合宿誘致等による交流人口の拡大のため、町の助成制度周知や合宿相談会等へ参加し誘致活動を行った。</p> <p>③ 特産品を活用した体験型観光モニターツアーの開催 ・「冬のくずまき満腹ツアー」の開催 (3回)</p>
③ 活動状況	<p>① サイクルツーリズムの推進</p> <p>ア サイクルイベントの企画・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/1～2 E-bike体験会@平庭高原つつじまつり (5人) ・8/22 「IWATE農LIFEツアー」E-bike体験@町内 (10人) ・9/6 インターンシップ大学生E-bike体験@町内 (6人) ・9/14、10/20 E-bike体験会@町内 (8人) ・岩手県広域サイクリングルート試走@葛巻～盛岡 (6人) <p>イ 自転車利用・レンタサイクルの普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルステーションの設置・運営 (14箇所) ・レンタサイクルの運営 (5箇所) <p>② スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致活動</p> <p>ア スポーツ合宿等宿泊助成費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム数：16チーム (県内7チーム、県外9チーム) ・チーム区分：大学2、高校4、中学5、小学5 ・延べ宿泊者数：733人 (前年度 635人)

	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金額：1,059,872円（前年度1,006,580円） <p>イ スポーツ大会等誘致運営費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会数：11件（前年度6件） ・補助金額：175,000円（前年度80,000円） <p>ウ 合宿等誘致活動</p> <p>③ 新たな特産品を活用した体験型観光モニターツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/11 「冬のくずまき満腹ツアー①」：参加者21名 ・2/24 「冬のくずまき満腹ツアー②」：参加者22名 ・3/9 「冬のくずまき満腹ツアー③」：参加者21名
④ 委託事業	<p>① 「サイクル利用環境整備等業務」 受託者：㈱やどり木</p> <p>町民や観光客等による自転車を活用した利便性や周遊性を向上させ、観光振興と地域の活性化を図るため、自転車の利用実態を調査し、効果的な施策を展開するための基礎資料を作成すること及びサイクルステーションの円滑な運営を目的とする。</p> <p>また、観光や視察等による来訪者の周遊環境を向上させることが課題であることから、まちなかの周遊性及び集客性を高め、ツーリストをまちなかに呼び込むために「くずまき型サイクルツーリズム」の促進事業に「レンタサイクル」を位置づけ、まちなかにおける需要の可能性及び利用者ニーズの把握を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルステーションの運営及び利用状況調査 ・レンタサイクルの運営、情報発信 ・利用者へのアンケート調査の実施及び分析 <p>② 「体験型観光モニターツアー実施業務」 受託者：IGRいわて銀河鉄道㈱</p> <p>着地型観光の受け入れ態勢の充実を図るため、「葛巻町ならではの」の食や体験を盛り込んだモニターツアーを実施して消費者ニーズを調査するとともに、冬期間における誘客促進を図り、交流人口の拡大となる「くずまきファン」の拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光モニターツアーの開催
⑤ 成果	<p>① サイクルツーリズムについては、レンタサイクルやサイクルステーションの継続実施のほか、E-bike体験会の開催など、まずは町民にサイクルに親しんでもらう機会の創出を意識して取り組んでおり、少しずつではあるが町民の理解が広がってきたと感じている。</p> <p>② スポーツツーリズムについては、スポーツ合宿が16チーム、大会誘致が11件と前年度から増加している。利用者からは、静かな環境で競技に集中できること、宿泊施設と隣接し利用しやすいとの好意的な意見をいただいております、継続した周知を図りたい。</p> <p>③ 体験型観光モニターツアー実施については、全3回の催行であったが、募集開始後すぐに完売するなど非常に盛況であった。</p> <p>また、今回は葛巻高校の協力のもと、旅行商品の企画から当日のアテンドまで葛巻高校生が参加する新たな取り組みを行い、郷土愛の醸成と将来のまちづくり人材の育成も図られた。</p>

⑥ 課 題	<p>① サイクルツーリズムについては、観光コンテンツの一つとして他の観光資源等と連携を強化するとともに、まずは町民がサイクルに親しむことで、交流人口の拡大につなげていく必要があるため、気軽にサイクルに親しめる機会の創出を更に推進したい。</p> <p>② スポーツツーリズムについては、利用者から、合宿と併せて、体験などを行いたいという意見をいただいていることから、町内の関係団体と連携を図り、合宿のリピーターにつながるように満足度の向上に努めていきたい。また、合宿・大会誘致の情報等、盛岡広域スポーツコミッション及び近隣市町村と連携を図り、スポーツ・宿泊施設を相互利用できるような体制を構築していきたい。</p> <p>③ モニターツアーについては、葛巻高校生の活躍もあり非常に好評であったため、旅行商品として販売に繋げられるよう、内容や金額などを検討しながら更に魅力的なツアーとなるよう継続して実施していきたい。</p>
-------	---

(2) まちなか賑わい創出部会

項 目	内 容
① 基本方針	<p>「まちなかエリアビジョン」に基づき、「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向けて公民連携によるエリア全体の価値向上につながる取組みを推進するとともに、起業家の創出や誘致に向けてエリアの魅力向上と民間活力の導入を図りながら、受入環境の整備を推進する。</p>
② 活動概要	<p>① まちなかりノベーションワークショップの開催 さらなる交流人口の拡大と新たな雇用の創出を目指し、町民の意見を集約する機会として、まちなかの賑わい創出や旧遠藤邸の利活用等に係るワークショップのほか、実践活動としてまちなか賑わい創出イベントを開催した。 また、新たな取組みとして「まちなか通信」を3回発行し、部会活動の周知を図った。</p> <p>② 起業家育成支援セミナーの企画・開催 まちなかエリアの再生に向けて、起業を志す人材を育成する起業家育成支援セミナー「月3万円のわたしごと」(全6回)を開催した。</p>
③ 活動状況	<p>① まちなかりノベーションワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/30 じぶんごとまち暮らしワークショップ① (30人) ・7/15 じぶんごとまち暮らしワークショップ② (20人) ・8/25 まちなかライブラリー本箱DIYワークショップ (15人) ・10/20 まちなか賑わい創出イベント「おえんまつり」(45人) ・10/31 旧遠藤邸障子張り替え (14人) ※町婦人連絡協議会協力 ・11/13 まとめ・振り返りワークショップ (8人) ・5～10月 旧遠藤邸オープンデーの実施 ・「まちなか通信」の発行 (3回) <p>② 起業家育成支援セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/6 「月3万円のわたしごと」講座① (6人) ・7/21 「月3万円のわたしごと」講座② (6人)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8/18 「月3万円のわたしごと」講座③：(6人) ・ 9/1 「月3万円のわたしごと」講座④：(6人) ・ 9/16 「月3万円のわたしごと」講座⑤：(6人) ・ 10/12 「わたしごとマルシェ：出店者6人ほか歴代受講生 <p>③ まちなか賑わい創出・起業家育成連携企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2/16 「女性・若者の起業支援フォーラム」(50人) 基調講演、3ビズ受講生によるパネルディスカッション、意見交換会
④ 委託事業	<p>① 「まちなかエリアリノベーション推進業務」受託者：(株)やどり木 「まちなかエリアビジョン」に基づき「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向けて公民連携によるエリア全体の価値向上につながる取組みを推進するとともに、観光地域づくり人材の育成と民間活力を引き出す体制づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり人材育成及び旧遠藤邸等利活用等に係るワークショップ ・ まちなか賑わい創出イベントの開催 <p>② 「起業家育成支援事業推進業務」受託者：(株)やどり木 本町のまちなか再生のため、起業を志す人材を育成し、まちなかエリアの賑わいの創出及び民間活力の創出に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修プログラム「月3万円のわたしごと」の実施 ・ 起業希望者に対するアドバイザー業務
⑤ 成果	<p>① 「じぶんごとまち暮らしワークショップ」では、まちなかエリアビジョンをもとに、旧遠藤邸やまちなかに欲しい機能の検討や、そこを拠点としてまちなかで滞在、周遊ができるような仕組みの実践などを行った。これまで継続して実施してきたことで、まちなかエリアビジョンの共有と取り組みの過程で地域づくりを自分ごととして落とし込むという意識の醸成が図られた。</p> <p>また、新たな取組みとして、部会の活動や旧遠藤邸の利活用状況などをお知らせする「まちなか通信」を発行し活動の周知に努めたほか、町婦人連絡協議会のご協力のもと、旧遠藤邸の障子張りを行うなど、地域との協働も図られた。</p> <p>② 4期目となる起業家育成支援セミナー「月3万円のわたしごと」講座は6人が受講し、起業による地域の賑わいづくりについて理解を深めるとともに、起業しやすい雰囲気醸成が図られ、受講者が実際に活動するなどの成果が表れてきている。</p> <p>また、「女性・若者の起業支援フォーラム」の開催により、起業に向けた更なる機運醸成と今後の取り組みに必要な課題の共有などが図られた。</p>
⑥ 課題	<p>① まちなかエリアビジョンの「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に るまちなかの日常的な賑わい創出向け、起業家育成支援事業と連携した まちづくり基幹人材の育成により、町づくりを自分ごととして捉え、自 主的な活動が芽生えてきたが、その継続と発展のため、さらなる人材育 成と活動展開の支援が必要である。</p>

	② 継続的な支援による起業候補者の発掘と、多くの人まちづくりを自分ごと認識し参加したくなるような活動の展開と情報発信が必要である。そのためには、3ビズ受講者の多様な希望を把握し、次のステージに進むために必要なハード・ソフトを含めた支援が必要である。
--	--

(3) 関係人口創出部会

項目	内容
① 基本方針	<p>特産品を中心に葛巻町のブランドイメージのさらなる向上を図り、新たな「くずまきファン」の獲得を目指す。</p> <p>また、移住体験ツアーや各種情報発信を通じて、町への移住を促進するとともに、「拡大コミュニティ」の形成を目指して町外在住者や大学生等の関係人口を創出し、地域づくりへの多様な関わりとU I ターンを促進する。</p>
② 活動概要	<p>① 町の特産品を活用した商品開発によるブランディング 専門家等からアドバイスをいただき、町内の飲食店におけるくずまき鍋の指導と特産品を活用した新商品（メニュー）の開発を進めた。 ・ 8店舗</p> <p>② 移住希望者に対するPRイベント等の開催 実際に現地に来町していただく「体験ツアー」を夏季・秋季の2回実施。また、県外の移住希望者に対して町の情報を提供するため、交流・説明会を実施した。 ・【夏季】くずまき暮らし体験ツアー（7/20～21） ・【冬季】くずまき暮らし体験ツアー（11/16～17）</p> <p>③ 定住を支援するための仕事、住まいに関する情報発信 移住に向けて「くずまき暮らし」のイメージを膨らませていただくことを目的として、町の食文化や町民の暮らしの様子などをSNSで情報発信した。</p> <p>④ 若い世代の関係人口の創出とU I ターンの促進 ・大学生対象の地域おこし体験「若者関係人口創出事業」の実施</p>
③ 活動状況	<p>① くずまき暮らし体験ツアー ・ 7/20～21 参加者15人 ・ 11/16～17 参加者5人</p> <p>② 若者関係人口創出事業 ・ 7/6～7 若者関係人口創出事業① 地域理解：参加7人 ・ 8/7～11、24 若者関係人口創出事業② 地域交流：参加7人 ・ 9/21～22 若者関係人口創出事業③ 企画設計：参加7人 ・ 10/12～13 若者関係人口創出事業④ 企画準備：参加7人 ・ 11/2～11/4 若者関係人口創出事業⑤ 企画実施：参加7人 【世代間交流会】当日来場者：88人（大学生参加者含む） 【木工体験】 当日参加者：18人 ・ 12/1 現地報告会：参加7人 当日来場者：11人</p>

	<p>③ 飲食店等魅力向上支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/10～11 くずまき鍋指導（3店舗） ・6/19 くずまき鍋指導（3店舗） 飲食店メニュー開発等指導（1店舗） ・6/29 くずまき鍋指導（2店舗） 飲食店メニュー開発等指導（1店舗） ・10/12～13 くずまき鍋&ご当地グルメフェア開催（13店舗） ・11/21～22 飲食店メニュー開発等指導（1店舗） <p>※飲食店メニュー開発指導は公募による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随時 「くずまき鍋&ご当地グルメフェア」開催に係る助言等
<p>④ 委託事業</p>	<p>① 「飲食店等魅力向上支援業務」受託者：メグミプランニング 新たな特産品やメニュー等の開発により町の魅力を伝えることで、地域経済の活性化及び「くずまきファン」の獲得による関係人口の創出等を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くずまき鍋のブラッシュアップ指導 ・飲食店のメニュー開発指導 ・「くずまき鍋&ご当地グルメフェア」の開催に係る助言 <p>② 「くずまき暮らし体験業務」受託者：トラベルリンク 主に県外在住の若者・子育て世代の移住希望者に対し、町の魅力や暮らしの様子をウェブ上で情報発信するとともに、住民との交流機会や実際に町を訪れる機会を提供することで「移り住みたくなる町」としての認知度の向上と、くずまきファンの拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くずまき暮らし体験ツアーの開催 ・SNSによる情報発信「くずまきヒュッケ」 <p>③ 「若者関係人口創出事業推進業務」受託者：NPO法人SET 地方創生への関心の高い都市部の学生ら呼び込み、地域づくりに深く関わることによって町への愛着を育み、地域の活性化及び継続的な若者の関係人口の創出、ひいては将来的な移住定住を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生等による地域づくりプログラムの実施
<p>⑤ 成果</p>	<p>① 町内6店舗で提供いただいている「くずまき鍋(温・冷)」計12種類の改良指導による魅力向上が図られたほか、公募による町内2店舗の新規メニューの開発指導を実施し、個店の魅力向上も図られた。</p> <p>② くずまき暮らし体験ツアーを夏・冬時期2回実施し、季節に応じた現地ならではの空気感や町での暮らしを体験していただくことで魅力をPRすることができた。</p> <p>③ 大学生を対象とした地域おこしプログラムについては、現地でのイベント参加や企画の実施などを通して、町民との交流を深めてきたところ。今年度は、自治会や各種団体から地域事業の参画者を公募し、大学生と地域がより密接に関わる取り組みを展開しました。くずまき秋まつりなどの地域行事への参加を通じて、大学生と地域住民との交流や関係構築をさらに促進することができました。</p>

⑥ 課題	<p>① 「くずまき鍋」は町民をはじめより多くの方に味わっていただくためにさらなる情報発信が必要である。また、町内飲食店の新規メニュー開発や既存メニューのブラッシュアップなど、顧客の獲得に向けた課題は多いため、継続して取り組む必要がある。</p> <p>② 体験ツアーの実施について、より多くの参加者に継続して町を訪れてもらえるような工夫が必要で、魅力あるツアーの展開や情報発信を行っていかなければならない。</p> <p>③ 関係人口の継続的なつながりを持つための仕組みや情報発信が必要となり、地域愛着や葛巻ファンの拡大につなげなければならない。</p>
------	--

(4) 若者・高校生部会

項目	内容
① 基本方針	<p>町内の若者や葛巻高校生等が地域探求活動を通じて地域づくりに深く関わることによって次世代を担う地域づくりの担い手を育成するとともに、「若者や高校生が住みたくなるまち」の実現によって地域の活性化を図る。</p> <p>また、各テーマ別部会の取組みと連携を図ることで新たな刺激を創出し、世代間交流を行いながら、活発なDMO活動を実現する。</p>
② 活動概要	<p>① 若者や高校生の企画による賑わいづくり 若者や高校生が地域を探求して課題を設定し、その解決に向けた活動を行った。(全3回)</p> <p>② くずまきの魅力発信 プログラムの進捗状況を情報発信した。</p>
③ 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5/29 高校での「だべり場」実施：参加者48名（1学年） ・7/14 マイプロジェクトDAY 1：参加者7名 ・8/1 マイプロジェクトDAY 2：参加者5名 ・8/25 マイプロジェクトDAY 3：参加者4名 ・10/12～13 解決アクション「葛巻の魅力聞き込み」「フォトアルバム」「ヨーグルトのインタビュー」（町民まつりにて）：参加者10名 ・10/24、11/8、11/21、11/28、12/12 マイプロ定期活動：15名 ・12/18 最終回ワークショップ：参加者6名 ・1/8 フォローアップ（オンライン）：参加者1名
④ 委託事業	<p>① 「若者・高校生地域探求実践事業推進業務」受託者：NPO法人SET 地方創生への関心の高い都市部の学生と、町内の若者・高校生が一緒に地域づくりに深く関わることによって地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者、高校生による地域探求プログラムの実施
⑤ 成果	<p>① 各々が設定した課題を解決するためSETのサポートを受けながら活動を行い、自分の企画を実施した人もおり、それぞれが概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 考えた企画を実施することができ、若者や高校生が観光地域づくりへの参画を実感することができた。</p>

⑥ 課 題	<p>① 次世代を担う地域づくりの担い手育成のために、町内の若者や高校生が地域探求活動を通じて地域づくりに関わる機会を継続的に創出することが必要。</p> <p>② 実践活動の効果を高めるためには、より多くの参加者や町民を巻き込んだ活動を展開する必要がある。</p> <p>③ 活動終了後も継続的にまちづくりに関われるために関係を強化する仕組みの構築やさらなる情報発信が必要。</p>
-------	--

令和6年度収支決算報告

1 令和6年度くずまき観光地域づくり協議会収支決算書

【 収 入 】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (C=B-A)	内 容
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	葛巻町一般会計より 1,000,000
繰 越 金	499,547	499,547	0	前年度繰越金 499,547
雑 入	453	392	▲ 61	預金利息等 392
計	1,500,000	1,499,939	▲ 61	

【 支 出 】

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (C=B-A)	内 容
会 議 費	50,000	55,226	5,226	総会賄い、会場使用料等 55,226
需 用 費	50,000	4,876	▲ 45,124	消耗品等 4,876
役 務 費	150,000	121,100	▲ 28,900	HPレンタルサーバ使用料 16,500
				広告料 55,000
				手数料等 49,600
交 際 費	20,000	23,870	3,870	土産代等 23,870
部会活動費	1,050,000	735,786	▲ 314,214	部会参加者謝礼、講師謝礼等 118,257
				研修等旅費 32,948
				需用費 584,581
				消耗品費等 498,874
食糧費 85,707				
管 理 費	150,000	282,460	132,460	町家旧遠藤邸維持管理等経費 282,460
負 担 金	20,000	0	▲ 20,000	0
予 備 費	10,000	0	▲ 10,000	0
計	1,500,000	1,223,318	▲ 276,682	

収入合計 1,499,939 円 支出合計 1,223,318 円 = 276,621 円 (翌年度へ繰越し)

2 町一般会計におけるDMO事業関連経費【参考】

【 収 入 】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (C=B-A)	内 容	
国・県補助金	0	3,047,000	3,047,000	地域経営推進費(盛岡広域振興局)	3,047,000
一 般 財 源	17,450,000	13,071,070	▲ 4,378,930	需用費分	260,750
				原材料費分	50,000
				委託料費分	14,807,320
				補助金分	1,000,000
計	17,450,000	16,118,070	▲ 1,331,930		

【 支 出 】

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (C=B-A)	内 容	
需 用 費	300,000	260,750	▲ 39,250	施設維持管理等経費(町家旧遠藤邸)	260,750
委 託 料	16,100,000	14,807,320	▲ 1,292,680	観光・交流促進事業関係 サイクル利用環境整備等業務	1,183,226
				観光・交流促進事業関係 体験型観光モニターツアー実施業務	1,094,412
				まちなか事業関係 まちなかエリアリノベーション推進 業務	1,415,700
				まちなか事業関係 起業家育成支援事業推進業務	1,851,300
				関係人口創出事業関係 特産品活用新商品開発等支援業務	2,970,000
				関係人口創出事業関係 くずまき暮らし体験業務	1,906,057
				若者・高校生事業関係 若者関係人口創出推進業務	2,894,826
				若者・高校生事業関係 若者・高校生地域探求実践事業 推進業務	1,491,799
原 材 料 費	50,000	50,000	0	町家旧遠藤邸ウッドチップ	50,000
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	くずまき観光地域づくり協議会	1,000,000
計	17,450,000	16,118,070	▲ 1,331,930		

※この資料は町のDMO関連事業決算の抜粋になります。

監 査 報 告 書

くずまき観光地域づくり協議会規約第5条の規定により、令和6年度くずまき観光地域づくり協議会収支決算について、令和7年5月8日に関係諸帳簿及び証拠書類等を監査した結果、いずれも正確に処理されていることを認め、ここに報告します。

令和7年5月22日

監 事 高 宮 晴 彦 

監 事 井 上 桂 吾 

令和7年度事業計画(案)

1 全体到達目標

新型コロナウイルス感染症の影響などにより減少した観光客入れ込み数は回復傾向にあるものの、令和6年度の入込数は約23万人と最盛期の約55万人の半数に満たず、観光関係事業者や商工業者を中心とした地域経済に多大な影響が出ていたが、全国的な観光動向はインバウンド市場を中心に活況である。

このような状況下、観光を切り口とした視点で地域経済の活性化を図る観光地域づくり「くずまきDMO」の取組みについては、全町的な取組みとして強力に推進し、地域経済の活性化と人口減少対策として、人口減少の要因となっているジェンダーギャップ等の解消に向けて、特に若者や女性に選ばれる地域として、人づくり・地域づくりを更に推進することが重要である。

令和7年度は、第2期工事が完成予定である「くずま〜る」をまちなかの拠点として、周辺施設や町内の各種コンテンツ、町70周年記念事業等と連携し、さらなる誘客やイベント等の活性化が期待できる場所である。

これらのことを契機として、観光地域づくりをより一層推進するため、地域における多様な分野・産業の連携強化を図るとともに、観光コンテンツの柱となる町の特産品や地域の「食」、体験プログラムなどの地域資源の更なる活用によるサービス等の提供体制の充実を図り、葛巻町の魅力を最大限に活かした観光コンテンツの整備と情報発信の強化を図り、町内の周遊と宿泊につながる「着地型観光」の推進による関係・交流人口の拡大を目指す。

また、実践・実働部隊となる4部会では、これまでの取り組みの成果を事業化する体制を構築するとともに、地域づくりに関わる人材育成や民間事業者等との連携強化を図るものとする。

2 DMOビジョン

- (1) 観光客や町民が町内の魅力ある空間・スポットを回遊しながら交流し、町の特産品や料理を消費して、地域経済が活性化する。
- (2) 「くずまきらしいライフスタイル」の発信により、交流人口が増加して町の賑わいが創出されるとともに、産業の担い手となる若い世代が町に集まる。

3 活動方針

- (1) 葛巻町の観光資源を磨き上げ、町のブランドイメージをさらに向上させる。
- (2) 中心商店街がある「まちなかエリア」における誘客・滞在・交流を促進する。
- (3) 町の特産品を活かした「食」産業の振興を図る。
- (4) 地域づくり人材の育成と民間活力を引き出す支援体制の構築を一層推進する。
- (5) 関係団体相互の連携を強化し、くずまきDMO事業を全町的な取組みとして推進する。

4 事業内容

(1) くずまきDMO推進事業

① くずまき観光地域づくり協議会の運営

- ・定期総会の開催
- ・各テーマ別部会活動の推進

② くずまきDMO事業推進体制の強化

- ・DMO講演会等の開催
- ・DMO活動成果発表会の開催
- ・観光関連情報の発信（協議会ホームページ、SNS等）
- ・他事業と連携したDMOキャンペーンの展開
- ・いわて観光データマネジメントプラットフォームを活用した観光動向調査分析業務の実施

(2) 着地型観光体制構築事業

① 町内周遊観光体制構築事業

ア 着地型観光の受入体制の強化

- ・体験型モニターツアー、イベントの開催

イ 各種ツーリズムの機運醸成

- ・サイクルツーリズム（サイクル体験イベント等の開催、レンタサイクル・サイクルステーションの設置、岩手県広域サイクリングルートとの連携強化）
- ・スポーツツーリズム（各種スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致促進）
- ・グリーンツーリズム（体験コンテンツの強化）

ウ 若者・高校生世代の観光地域づくりへの参画促進

- ・ばず部活動の更なる展開と情報発信強化
- ・地域探求実践活動への支援

② まちなかエリア誘客促進事業

ア 観光地域づくり人材の育成と民間活力の導入促進

- ・まちなかりノベーションワークショップの開催
- ・賑わいづくり実践活動の展開
- ・旧遠藤邸の改修に向けた検討会の実施

イ 起業希望者の発掘とまちなかエリアへの誘致

- ・起業家育成支援セミナーの開催

(3) 関係人口拡大推進事業

① 特産品の魅力向上による「くずまきファン」の拡大

- ・地域食材や特産品の高付加価値化に向けたメニュー等開発による飲食店の魅力向上支援
- ・「くずまき鍋」のPR促進

② 移住希望者に対するPRの推進

- ・くずまき暮らし体験ツアーの開催

③ 拡大コミュニティの構築

- ・大学生のインターンシップ及び地域おこし体験プログラムの受入れ
- ・盛岡広域振興局との連携による、山村留学生を含む首都圏で活動する葛巻高校の卒業生などを対象とした交流会の開催（於：東京）。

5 DMO戦略及びKPI（重要業績評価指標）

(1) 戦略及びKPIの設定方針

年度終了後に各戦略の業績を正確に把握・検証して業績の改善につなげるため、戦略の重要な業績を評価することができる指標のうち、「測定が容易に可能であり、努力次第で期間内に達成が可能と考えられるもの」として設定します。

※令和6年度に葛巻町総合計画後期基本計画(第3期総合戦略)の策定に伴い、戦略の見直しを行った

(2) DMOビジョン1

観光客や町民が町内の魅力ある空間・スポットを回遊しながら交流し、町の特産品や料理を消費して、地域経済が活性化する。

戦略	KPI	R9目標	R4	R5	R6
産業の担い手確保	新規就業者 (農業・林業・商工業)	8人/年	5人/年	4人/年	2人/年
まちなかエリアへの誘客による 個店の売上増	地元購買率	50.00%	45.70%	45.70%	45.70%
観光地域づくり人材の育成	DMO部会参加延べ人数	850人/年	716人/年	743人/年	707人/年
各種ツーリズムの推進による観光客の増加	観光客入込数	578,980人/年	186,526人/年	228,386人/年	226,663人/年
滞在型観光の推進による宿泊者の増加	町内宿泊施設宿泊者数	16,211人/年	12,808人/年	11,417人/年	10,579人/年
「くずまきファン」となる関係人口の拡大	ふるさと納税件数	1,400件	770件	800件	1,046件

(3) DMOビジョン2

「くずまきらしいライフスタイル」の発信により、交流人口が増加して町の賑わいが創出されるとともに、産業の担い手となる若い世代が町に集まる。

戦略	KPI	R9目標	R4	R5	R6
町の魅力的な確かな情報発信	ライフビジョンアカウント数	5,000件	2,617件	3,051件	3,440件
U・Iターン希望者への移住支援	新規移住相談件数	77件/年	48件/年	42件/年	52件/年
子育て世代への移住支援	子育て世代の移住件数	10世帯/年	5世帯/年	5世帯/年	0世帯/年
「くずまきファン」となる関係人口の拡大（再掲）	ふるさと納税件数	1,400件	770件	800件	1,046件

6 各部会の活動内容

(1) 観光・交流促進部会 ～プロモーション（参加・購買意欲の喚起）～

① 基本方針

観光客の町内での滞在時間を長くするため、サイクルツーリズムやスポーツツーリズム、グリーンツーリズムを中心とした体験型プログラムの充実を図るとともに、サイクル体験イベントやモニターツアーの開催による、町の観光コンテンツのPRを強化する。

観光を軸とした全町的な取組みを推進するため、これまでの活動の成果を踏まえながら、観光分野の専門家のアドバイスのもと、さらなる観光客の受け入れ環境の充実・強化を図る。

② 目標

- ア 着地型観光の受入体制の充実
- イ サイクルツーリズムの普及促進
- ウ スポーツツーリズムのPR強化
- エ グリーンツーリズムの推進

③ 活動内容

- ア 体験型モニターツアーの企画・開催（葛巻高校と連携）
- イ サイクル体験イベント等の企画・開催
- イ サイクルステーション、レンタサイクルの実施
- ウ スポーツ合宿・スポーツ大会の誘致活動
- エ 体験コンテンツの強化及び新規コンテンツの検討

(2) まちなか賑わい創出部会～マーケティング（価値の創造・仕組みの構築）～

① 基本方針

「まちなかエリアビジョン」及び「くずま～周辺環境整備構想」に基づき、「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向けて公民連携によるエリア全体の価値向上につながる取組みを推進する。

旧遠藤邸の改修に向けて、改修後のコアプレイヤーと想定される方や部会員、関係団体等で必要な機能や設備等について検討を行い、ハードとソフトが連携したまちなかエリアの拠点整備を推進する。

また、地域経済の活性化に欠かせない民間活力の向上を促進するため、旧遠藤邸の改修検討や関係機関等と連携しながら起業家の育成を図り、まちなかエリアにおける賑わい創出を推進する。

② 目標

- ア 「まちなかエリアビジョン」等の実現に向けた地域づくり人材の育成と民間活力を引き出す体制づくり
- イ 起業希望者の掘り起こし及び支援

③ 活動内容

- ア まちなかエリアリノベーションワークショップの開催
 - ・まちなかエリアの賑わいづくり実践活動の展開
 - ・旧遠藤邸の改修に向けた検討会の開催
- イ 起業家育成支援セミナーの企画・開催
 - ・起業を志す人材育成を通じた公民連携によるまちなかエリアの魅力向上

(3) 関係人口創出部会～ブランディング（他との差別化・らしさ追及）～

① 基本方針

特産品を中心に葛巻町のブランドイメージのさらなる向上を図り、新たな「くずまきファン」の獲得を目指す。

また、移住体験ツアーや各種情報発信を通じて、町への移住を促進するとともに、「拡大コミュニティ」の形成を目指して町外在住者や大学生等の関係人口を創出し、地域づくりへの多様な関わりとU Iターンを促進する。

② 目標

ア 特産品の魅力向上による「くずまきファン」の拡大

イ 移住希望者に対するPRイベント等の開催

ウ 「拡大コミュニティ」の構築

③ 活動内容

ア 地域食材や特産品の高付加価値化の推進

イ 「くずまき鍋」のPR促進

ウ くずまき暮らし体験ツアーの企画・実施

エ 大学生のインターンシップ及び地域おこし体験プログラムの受け入れ

オ 盛岡広域振興局との連携による関係人口創出に係る交流会の開催（於：東京）

(4) 若者・高校生部会～アクション（実践の展開と周囲の巻き込み）～

① 基本方針

葛巻高校生等による「若者や高校生が住みたくなるまち」の実現を目指して地域のヒト、モノ、コトを探求し情報発信を行う。

また、各テーマ別部会の取組みと連携を図ることで新たな刺激を創出し、世代間交流を行いながら、活発なDMO活動を実現する。

② 目標

ア 若者や高校生が「住みたくなるまち」の実現に向けた地域のフィールドワークによる人材育成

イ 若者や高校生の目線による葛巻町の魅力発信

③ 活動内容

ア 若者や高校生によるフィールドワークの実施

・町内の資源や魅力などの発信すべき素材探し及び部会活動への参加、取材

イ くずまきの魅力発信

・SNS等による情報発信

葛巻町総合計画後期基本計画(第3期総合戦略)／くずまきDMO戦略・施策

葛巻町総合計画後期基本計画 (R6～R9)

重点プロジェクト(戦略)	重点施策	KPI (重要業績評価指標)
次代につなぐ “しごと” づくり 【基本数値目標】 生産年齢人口一人 当たりの雇用報酬 R9年度2,800千円 (R4年度2,412千 円)	変革による 産業の振興	新規就業者 (農業・林業・商工業) R9年度8人 (R4年度5人)
	若者・女性が活躍 できる雇用の創出	地元購買率の向上 R9年度50.0% (R4年度45.7%)
	観光交流の促進と 賑わいづくり	新規起業者 R9年度：4件 (R2-R5年度1件)
持続可能な “まち”づくり 【基本数値目標】 人口の社会動態 R9年度4人 (R5年度△20人)	若い世代が定着で きる住宅環境の 整備	観光客入込数 R9年度578,980人 (R4年度186,526人)
循環する “ひと”づくり 【基本数値目標】 年間出生数 R9年度20人 (R5年度16人)	結婚・出産・子育て などに応じた 支援の充実	ふるさと納税件数 R9年度1,400件/年 (R4年度770件/年)
		若者定着率 R6年度40.0% (R4年度32.5%)
		合計特殊出生率 R9年度2.10 (R4年度1.47)

くずまきDMO戦略 (R6～R9)

DMO ビジョン	戦略	KPI(重要業績評価指標)	主な施策 (R7年度事業)
観光客や町民が 町内の魅力ある 空間・スポット を回遊しながら 交流し、町の特 産品や料理を消 費して、地域経 済が活性化する	産業の担い手確保	新規就業者(農業・林業・商工業) 8人	1 くずまきDMO推進事業 ①くずまき観光地域づくり協議会の運営 ②観光地域づくりセミナー、視察研修の実施 ③DMO活動成果発表会の開催 ④観光関連情報の発信 (協議会ホームページ、SNS等) ⑤DMO企画キャンペーンの展開 ⑥いわて観光DMPを活用した観光動向調査分析業務の実施 2 着地型観光体制構築事業 2-1 町内周遊観光体制構築事業 ①着地型観光の受入体制の強化 ・体験型モニターツアー、イベントの開催 ②各種ツーリズムの機運醸成 ・サイクルツーリズム(サイクルイベントの開催) レンタサイクル・サイクルステーションの運営 ・スポーツツーリズム(合宿・大会の誘致促進) ・グリーンツーリズム(体験コンテンツの強化) ③若者・高校生世代の観光地域づくりへの参画促進 ・必ず部活動の更なる展開と情報発信強化 ・地域探求実践活動への支援 2-2 まちなかエリア誘客促進事業 ①観光地域づくり人材の育成と民間活力の導入促進 ・まちなかリノベーションワークショップの開催 ・賑わいづくり実践活動の展開 ・旧遠藤邸改修に向けた検討会の開催 ②起業希望者の発掘とまちなかエリアへの誘致 ・起業家育成支援セミナーの開催 3 関係人口拡大推進事業 ①特産品の魅力向上による「くずまきファン」の拡大 ・地域食材や特産品の高付加価値化 ・飲食店の魅力向上支援 ・「くずまき鍋」のPR促進 ②移住希望者に対するPRの推進 ・くずまき暮らし体験ツアーの開催 ③拡大コミュニティの構築 ・大学生等による地域おこし体験プログラムの実施
	まちなかエリアへの誘客 による個店の売上増	地元購買率 50.0%	
	観光地域づくり 人材の育成	DMO部会参加延べ人数 850人	
	各種ツーリズムの推進 による観光客の増加	観光客入込数 R9年度578,980人	
	滞在型観光の推進 による宿泊者の増加	町内宿泊施設宿泊者数 R9年度16,211人	
	「くずまきファン」と なる関係人口の拡大	ふるさと納税件数 R9年度1,400件/年	
「くずまきらし いライフスタイル」の発信によ り、交流人口が 増加して町の賑 わいが創出され るとともに、産 業の担い手とな る若い世代が町 に集まる	町の魅力的確な 情報発信	ライフビジョンアカウント数 5,000件	
	U・Iターン希望者 への移住支援	新規移住相談件数 77件	
	子育て世代への 移住支援	子育て世代の移住件数 10世帯	

令和6年度に葛巻町総合計画後期基本計画(第3期総合戦略)の策定に伴い、重点プロジェクト(戦略)や重点施策、KPIなどが見直しされたため、くずまきDMO戦略も見直しを行いました。期間についても、後期計画の令和6年度～令和9年度にあわせておりましたが、必要に応じて見直すものとします。

令和7年度収支予算(案)

1 令和7年度くずまき観光地域づくり協議会収支予算書(案)

【 収 入 】

(単位：円)

科 目	R7年度予算額 (A)	R6年度予算額 (B)	増 減 (C=A-B)	内 容
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	葛巻町一般会計より 1,000,000
繰 越 金	276,621	499,547	▲ 222,926	前年度繰越金 276,621
雑 入	379	392	▲ 13	預金利息、交流会参加者会費等 379
計	1,277,000	1,499,939	▲ 222,939	

【 支 出 】

科 目	R7年度予算額 (A)	R6年度予算額 (B)	増 減 (C=A-B)	内 容
会 議 費	50,000	50,000	0	総会、研修会等 50,000
需 用 費	40,000	50,000	▲ 10,000	消耗品 40,000
役 務 費	150,000	150,000	0	協議会HPレンタルサーバ使用料、広告料、手数料等 150,000
交 際 費	20,000	20,000	0	土産代等 20,000
部会活動費	800,000	1,050,000	▲ 250,000	協力者謝礼等 200,000
				研修等旅費 100,000
				需用費 500,000
				<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>消耗品・備品等購入費</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>100,000</td> </tr> </table>
消耗品・備品等購入費	400,000			
食糧費	100,000			
管 理 費	200,000	150,000	50,000	町家旧遠藤邸等 200,000
負 担 金	10,000	20,000	▲ 10,000	各種負担金等 10,000
予 備 費	7,000	10,000	▲ 3,000	7,000
計	1,277,000	1,500,000	▲ 223,000	

※予算の執行にあたっては、各科目間の流用を認める

2 町一般会計におけるDMO事業関連経費【参考】

【 収 入 】

(単位：円)

科 目	R7年度予算額 (A)	R6年度予算額 (B)	増 減 (C=A-B)	内 容
国・県補助金	6,355,000	3,047,000	3,308,000	地域経営推進費(盛岡広域振興局) 6,355,000
一般財源他	10,645,000	14,403,000	▲ 3,758,000	需用費分 300,000
				原材料費分 50,000
				委託料分 15,650,000
				補助金分 1,000,000
計	17,000,000	17,450,000	▲ 450,000	

【 支 出 】

科 目	R7年度予算額 (A)	R6年度予算額 (B)	増 減 (C=A-B)	内 容
需 用 費	300,000	300,000	0	施設等修繕料(町家旧遠藤邸) 300,000
委 託 料	15,650,000	16,100,000	▲ 450,000	観光・交流促進事業関係 サイクル利用環境整備等業務 716,000
				観光・交流促進事業関係 体験型観光モニターツアー実施業務 1,090,000
				観光・交流促進事業関係 いわて観光DMPを活用した観光 動向調査分析業務 689,000
				まちなか事業関係 まちなかエリアリノベーション推進業務 1,271,000
				まちなか事業関係 起業家育成支援事業推進業務 1,834,000
				まちなか事業関係 旧遠藤邸改修検討業務 750,000
				関係人口創出事業関係 飲食店等魅力向上アドバイザー業務 2,970,000
				関係人口創出事業関係 くずまき暮らし体験業務 2,000,000
				若者・高校生事業関係 若者関係人口創出推進業務 2,900,000
				若者・高校生事業関係 若者・高校生地域探求発信事業 推進業務 1,430,000
原 材 料 費	50,000	50,000	0	町家旧遠藤邸関係 50,000
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	くずまき観光地域づくり協議会 1,000,000
計	17,000,000	17,450,000	▲ 450,000	

※この資料は町のDMO関連事業決算の抜粋になります。

くずまき観光地域づくり協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、くずまき観光地域づくり協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、町民、関係団体、民間企業等及び行政が一体となり、観光を中心とした「住んでよし、訪れてよし」の豊かな地域づくりにおける全町的な合意形成のもと、町民自らが地域の魅力を創出し、くずまきファンの獲得における交流人口の拡大及び起業家の誘致等を推進することにより、地域経済の活性化を図り、若者にとって「魅力ある仕事」を創出し、もって移住定住人口の増加を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 観光データ等の情報収集及び分析
- (2) 戦略策定
- (3) 特産品の開発・販路拡大
- (4) まちづくり人材の育成
- (5) 誘客促進・情報発信
- (6) 移住・交流の推進
- (7) その他、協議会の目的達成に必要な業務

(組織)

第4条 協議会の会員は、別表1に掲げる者をもって組織する。

- 2 前項の会員のほかに、協議会が必要と認める者(団体を含む)を会員とすることができる。

(役員)

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 2名
 - (3) 監事 2名
- 2 役員は、任期は2年とし、再任を妨げない。なお、補欠により選任された役員は、前任者の残任期間とする。
 - 3 役員は、総会において会員の中から互選する。
 - 4 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
 - 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
 - 6 監事は、協議会の会務及び会計を監査する。

(アドバイザー)

第6条 協議会に、アドバイザーを置くことができる。

- 2 アドバイザーは、協議会の運営に対して、助言を行う。
- 3 アドバイザーの任期は2年とし、再任を妨げない。

(会議)

第7条 協議会の会議は、総会、役員会及び事業検討部会とする。

- 2 総会は会長が招集し、会長が議長となる。
- 3 通常総会は、年1回開催する。ただし、会長が必要と認めたときは臨時総会を開催することができる。
- 4 総会は、次の事項について、審議議決する。
 - (1) 規約の制定・改廃に関する事項
 - (2) 協議会の予算並びに決算に関する事項

- (3) 協議会の事業計画並びに事業報告に関する事項
 - (4) 計画・戦略等の策定に関する事項
 - (5) 協議会役員を選任並びにアドバイザーの推挙に関する事項
 - (6) その他、協議会の運営に関して必要な事項
- 5 役員会は、必要の都度会長が招集し、会長が議長となる。
- 6 協議会に、事業執行に当り必要な専門的事項を検討するために、事業検討部会を置くことができる。事業検討部会の運営に関し必要な事項は別に定める。

(総会の議決方法)

第8条 総会は、会員の過半数以上の出席をもって成立するものとする。

- 2 総会の議決は、出席会員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(会計)

第9条 協議会の経費は、補助金、委託料、負担金、手数料及び寄付金をもって充てる。

- 2 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第10条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 事務局の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(雑則)

第11条 協議会は、会議又は業務遂行上必要に応じて会員以外の者に出席を要請し、助言並びに協力等を求めることができる。

(補則)

第12条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成28年9月21日から施行する。

この規約は、平成29年5月10日から施行する。

この規約は、平成30年1月12日から施行する。

この規約は、平成31年3月19日から施行する。

別表1 くずまき観光地域づくり協議会構成員

役職	所属等
	葛巻町
	岩手県盛岡広域振興局経営企画部
	新岩手農業協同組合葛巻支所
	葛巻町商工会
	葛巻町森林組合
	葛巻町観光協会
	特定非営利活動法人葛巻町スポーツ協会
	一般社団法人葛巻町畜産開発公社
	株式会社岩手くずまきワイン
	株式会社グリーンテージくずまき
	守山乳業株式会社葛巻工場
	タカナシ乳業株式会社岩手工場
	岩手銀行葛巻支店
	盛岡信用金庫葛巻支店
	岩手県立葛巻高等学校
	葛巻町自治会連合会
	葛巻町女性団体連絡会
	葛巻町青年連合協議会
	移住者代表